

年頭の挨拶

奥出雲町長 岩田 一郎

新年明けましておめでと
うございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになりましたこと、先ずもつてお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政にあつては、参議院選挙や安部総理の辞任による福田内閣の発足、県政も二十年続いた澄田県政から溝口新知事に引き継がれた年でもありました。

本町では、横田高校、横田中学校ホッケー部の国体や全国大会での優勝、仁多中学校神谷君のバイクトライアル世界大会個人準優勝、同校吹奏楽部の全国合奏コンテストでの優秀賞受賞、同校男子剣道部の中四国剣道大会準優勝など各部門で活躍されました。

また、全国米・食味分析鑑定コンクールでは、仁多米が最高位の金賞に輝き、鳥根県消防操法大会では三沢分団の優勝、横田分団は準優勝三位の成果を挙げるなど町民の皆様が目覚ましい

活躍をされ、奥出雲町の名声を更に高めていただいた一年でした。

さて、我が国の経済情勢は、大都市圏を中心に景気の回復基調が続いておりますが、一方で、中小企業や地方においては、依然として景気回復の足どりは鈍く企業間の経済格差や地域間格差はますます広がる厳しい状況であります。

昨年、鳥根県で開催された増田総務大臣との「くるまざ座談会」に出席し、格差是正、地方財源確保について強く要請を行ったところですが、年末に、国の来年度予算が閣議決定され、当初予算はわずか一千五百億円の増加で、公共事業費は削減され「地方再生対策費」の新設などにより、実質、県市町村の地方交付税の五年ぶりの増額と、地方に配慮したとはいえ、二十年度の予算は引き続き厳しいものとなっております。

このようなか、本町の平成十九年度一般会計予算は

十二月補正で百六十五億円と、建設事業費については県内四市十二町村を上回る規模となるなど、多くの建設事業を実施して越年することができました。

新町発足と共に着手した光ファイバーを接続したケーブルテレビ超高速インターネット網の整備は、総事業費三十一億円をもって完成したほか、酒蔵奥出雲交流館も道の駅として整備し、尾原ダム対策関連事業、一昨年七月の豪雨災害の復旧事業、引き続きの自治会公会堂建設、町営住宅の建設、横田中学校大規模改造、横田小学校のプール改修など多くの事業を進めたところであります。

「全国和牛能力共進会」では、県代表となった本町の九頭の仁多牛は、圧倒的な飼育頭数を擁する九州勢が上位を占める中よく健闘し、一区、五区、六区で優等賞に輝きました。

国営開発農地につきましては、町内三社の企業参入に加え、昨年は大型ハウスを活用して農業法人による高糖度トマトの生産出荷が開始され、開発農地の活用

を進めることができました。

そのほか、奥出雲町町歌の制定や奥出雲町商工会の発足、土地改良区、学校給食会の統合、赤字経営の「有限会社サンマッシュ」も新たに「株式会社舞茸奥出雲」に組織を変えて健全化を進め、また「株式会社アメリテイよこた」も十二月末で「株式会社道の駅おろちループ」として新体制で経営を行うほか、二十年度から消防団の再編と保育所民営化の実施を決定したところであります。

六月にマスターズ陸上競技大会、八月に「NHK夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」、十月には十一団体が出演し、三千人の観客を魅了した「太鼓まつり」、十一月には「全国米・食味コンクール」など大きな行事がありました。

また、亀高温泉「玉峰山荘」は、リクルート社が発行する観光旅行雑誌「じゃらん」で二年連続の温泉ラウンキング鳥根県一位に選ばれ、名実ともに奥出雲町を代表する観光拠点として高い評価を受けました。

さて、昨年十二月の町広

報でお知らせしておりますとおり、平成十八年度決算で、市町村の財政健全度を示します経常収支比率は、県下二十一市町村の中で一番良好な指数となっておりませんが、今後も起債の繰上げ償還などによる健全な財政の運営に努めながら、本年も引き続き道路の改良・舗装、横田地域の上下水道整備、移動通信鉄塔の整備による携帯電話の不感地域の解消など生活基盤整備を進めます。

さらに、延命水の施設整備や坂根駅の改築、もちの加工施設の新設など、本町の基幹産業である農業の振興、企業誘致、観光施策を行い、県下一の奥出雲町を目指し、努力して参りたいと考えております。

本年が奥出雲町にとりまして、また皆様にとりまして、明るく希望に満ちた幸多き年となりますよう、年頭にあたり心からお祈り申し上げます。

なお、私事でございますが、公職選挙法の規定により町内の皆様への年賀状を失礼させていただきますのでご寛容下さいませ。